

『未来の歴史は過去にすでに書かれていた?』

昨今話題になっているAIやVRの先にあるデジタル社会とはどんな社会なのか。その答えをくインターネット>の歴史の中から探ってみませんか？現在の社会を支えるインターネットやICT技術のルーツを辿り、次にくるデジタル社会の未来をみんなで考えましょう。

内容 Contents

開催日時	令和2年2月8日(土) 15:00～17:00(14:30～受付)
開催場所	津山市立図書館 〒708-0065 津山市新魚町17(アルネ・津山4階)
定員	20人
参加費用	社会人・一般/1,000円 学生(大学生・高校生)/無料
申込方法	財団HP、またはQRコードから申し込み ※裏表紙をご覧ください

スケジュール Schedule

15:00	開会
15:05	くインターネット>の次に来る デジタル社会の未来 ～AIやVRはわれわれに何をもたらすのか?～ 質疑応答
16:30	
17:00	閉会

講師 Teacher



服部 桂
HATTORI KATHURA

ジャーナリスト。早稲田大学理工学部で修士取得後、1978年に朝日新聞社に入社。84年にAT&T通信ベンチャー(日本ENS)に向向。87年から89年まで、MITメディアラボ客員研究員として未来のメディア研究をする。科学記者や雑誌編集者をを経て2016年に定年退職。現在は関西大学客員教授兼早稲田大学、女子美術大学、大阪市立大学などで非常勤講師を務める。

著書に『人工現実の世界』(工業調査会)『人工生命の世界』(オーム社)『メディアの予言者』(廣済堂出版)『マクルーハンとはメッセージ』(イースト・プレス)『VR原論』(翔泳社)。訳書に『デジタル・マクルーハン』『謎のチェス創世』『第3の神話』、『ヴィクトリア朝時代のインターネット』『謎のチェス指し人形』『ターク』『チュエリング 情報時代のバイオニア』(以上、NTT出版)『テクニウム』(みすず書房)『くインターネット>の次に来るもの』(NHK出版)など多数。

